

下水道管路の全国特別重点調査における路面下空洞調査について

1.調査目的

令和7年1月に八潮市で発生した道路陥没事故を受け、国土交通省からの要請により、下水道管路の全国特別重点調査を実施した結果、緊急度Ⅰ、緊急度Ⅱと判定された箇所について、道路陥没につながる路面下の空洞の有無を確認するため、調査を実施

2.調査概要

- ①一次調査・・・路面下のレーダー探査車、ハンディ型地中レーダーを使用して、空洞調査を実施 【延長L = 3, 739 m】
- ②二次調査・・・異常箇所毎に削孔してスコープによる詳細調査を実施 【8箇所】

レーダー探査車



ハンディ型地中レーダー



スコープ調査



3.調査結果

空洞が確認された箇所	8箇所
対象雨水管が原因と思われる空洞	0箇所
他埋設物などが原因と思われる空洞	8箇所

(参考)

緊急度	緊急度に応じた対策内容
Ⅰ	原則1年以内に速やかな対策を実施
Ⅱ	応急措置を実施した上で、5年以内に対策を実施

4.今後の対応

- ①空洞が確認された箇所は、各施設を所管する関係機関が復旧する予定
- ②対策が必要な管路の修繕・改築工事に係る実施設計（履行期間：令和8年5月25日～令和9年3月26日）
- ③緊急度Ⅰ、Ⅱと判定された対策が必要な管路の、管路内からの空洞調査を実施 延長L=334m（令和8年10月頃着手）
- ④対策が必要な管路の修繕・改築工事（緊急度Ⅰ：令和9年度、緊急度Ⅱ：令和10年度以降）

下水道管路の全国特別重点調査における路面下空洞調査について

下水道管路の
全国特別重点調査結果



空洞箇所図

